

大会名称: 第73回国民体育大会 バスケットボール競技会  
(福井しあわせ元気国体2018 バスケットボール競技会)

開催場所: 松岡中学校体育館 Bコート

試合区分: No. 11 少年女子 決勝

期 日: 2018(H30)年10月4日(木)

開始時間: 10:00

終了時間: 11:30



主審: 阿部 聖(北海道)

第1副審: 古畑 香子(茨城県)

第2副審: 小島 慶子(香川県)

愛知 (東海)	○ 92	29 — 16 26 — 21 20 — 22 17 — 13 — — —	● 72	宮崎 (九州)
------------	---------	---	---------	------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	坂本 雅	2	0	1	0	3	6	5
5		倉持 のりか	—	—	—	—	—	—	—
6		那須 みらい	0	0	0	0	0	0	0
7		野口 さくら	4	0	1	2	3	6	0
8	*	モハメド 早野夏	5	0	2	1	0	8	2
9	*	平下 愛佳	35	7	6	2	1	9	6
10		首藤 祐希	—	—	—	—	—	—	—
11		深津 彩生	3	0	1	1	0	2	0
12		佐藤 美怜	0	0	0	0	0	0	0
13	*	岡本 美優	30	0	14	2	3	6	1
14	*	江村 優有	13	1	5	0	2	7	11
15		穴澤 芽	0	0	0	0	1	1	1
HC		井上 眞一 / TEAM							
		合計	92	8	30	8	13	45	26

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4		河内 綾	0	0	0	0	0	0	0
5		財部 舞	0	0	0	0	0	0	0
6	*	成崎 結	24	2	7	4	1	3	0
7	*	ムボムボ ムロロ ファーロン	16	0	8	0	4	10	0
8		江藤 涼	1	0	0	1	1	0	0
9	*	ウォーカー ライアン 純	4	0	2	0	3	3	3
10		吉元 美百合	0	0	0	0	0	0	0
11		井ノ口 なな子	0	0	0	0	0	1	0
12	*	日高 千保理	5	1	1	0	1	1	1
13	*	フェスターガード ヤヤ	13	0	5	3	3	8	7
14		老山 花歩	9	3	0	0	0	3	0
15		江頭 璃梨	0	0	0	0	1	1	1
HC		前村 かおり / TEAM							
		合計	72	6	23	8	14	30	12

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル RB: リバウンド AS: アシスト

第1ピリオド、愛知県はマンツーマンディフェンス、宮崎県は、2-3ゾーンディフェンスでスタート。宮崎県#7がゴール下のシュートを決めると、愛知県は、#13の2Pで応戦する。宮崎県は、#7のオフェンスリバウンドからのシュートなど、確実にゴールを決める。一方、ディフェンスでリズムを作る愛知県は、#4のドライブインなどで6点リードとする。ここでタイムアウトを取り、流れを変えようとする宮崎県だが、愛知県の勢いは止まらない。#9の3P、2Pで得点を重ね、29-16で終了する。

第2ピリオド、愛知県は、#13が身体を張ったディフェンスで、宮崎県の#7にボールを入れさせず、流れは愛知県に。さらに、#14の3P、#13の確実な2Pで一気に20点差とする。宮崎県は、ボールマンにプレッシャーをかけて活路を見出そうとするが、流れは変わらない。残り2分、宮崎県は#6の2P、#14の3Pで連続得点し、55-37で前半を終了する。

第3ピリオド、出だしから宮崎県の#6の2Pが決まると、スティールからの速攻や、#13のドライブインと、怒涛の攻めで反撃。中盤には、ついに3点差まで追い上げる。しかし、愛知県は、#14が冷静な判断でシュートを決め、流れを渡さない。#7の力強いリバウンドや激しい守りもあり、相手の得点を許さず75-59で終了する。

第4ピリオド、宮崎県は、ディフェンスの奮闘から速攻を決めるが、愛知県は要所でリバウンドを奪い、#9の3Pも決まり、安定したチーム力を発揮し、追い上げを許さない。終盤、体力的に厳しい場面でも、諦めずに攻め続けた宮崎県だが、92-72で試合終了。愛知県が優勝を飾った。両チームの力強く、はつらつとしたプレーが会場を沸かせた、決勝戦にふさわしい好試合であった。

担当者: 林 厚子((一社)福井県バスケットボール協会)

(公財)日本体育協会、(公財)日本バスケットボール協会、(一社)福井県バスケットボール協会

